

新機能および補足説明について

- ・本書では、新機能の設定方法と制約事項などについて説明します。これらの機能については本書の内容を参照してください。また、本機に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。
- ・お使いの機種によっては、説明の画面とカメラの画面が異なる場合があります。
- ・本書では製品品番の一部（WV-）を省略している場合があります。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

- SFV631L : WV-SFV631L、WV-SFV631LT、WV-SFN631L で使用できる機能です。
- SFV611L : WV-SFV611L、WV-SFN611L で使用できる機能です。
- SPN631 : WV-SPN631 で使用できる機能です。
- SPN611 : WV-SPN611 で使用できる機能です。
- SPW631L : WV-SPW631LJ、WV-SPW631LTJ、WV-SPW631LSJ で使用できる機能です。
- SPW611L : WV-SPW611J、WV-SPW611LJ、WV-SPW611SJ で使用できる機能です。
- SPN531 : WV-SPN531 で使用できる機能です。
- SFV311 : WV-SFV311、WV-SFN311 で使用できる機能です。
- SPN311 : WV-SPN311 で使用できる機能です。
- SFN310 : WV-SFN310J で使用できる機能です。
- SPN310V : WV-SPN310V で使用できる機能です。
- SPW310 : WV-SPW310 で使用できる機能です。
- SFV531 : WV-SFV531、WV-SFN531 で使用できる機能です。
- SFV311A : WV-SFV311A、WV-SFN311A、WV-SFN310AJ、WV-SPN311A、WV-SPN310AV、WV-SPW311ALで使用できる機能です。
- SPN531A : WV-SPN531Aで使用できる機能です。
- SFV130 : WV-SFV130、WV-SFN130で使用できる機能です。
- SFV110 : WV-SFV110、WV-SFN110で使用できる機能です。

本機はソフトウェアのバージョンアップにより、下記の新機能の追加や仕様変更を行いました。

- ・ソフトウェアVer.1.70 (○SFV531 ○SFV311A ○SPN531A ○SFV130 ○SFV110 を除く)

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
1	[日時&画面内文字] の表示設定の拡張	基本画面 (基本)	3ページ
2	[コントラスト強調表示(RGB:0-255)] 機能を追加	基本画面 (基本)	4ページ
3	[プライバシーゾーン] の [表示形式] 機能 (モザイク表示) を追加	プライバシーゾーン (カメラ)	5ページ
4	[AGC (音声)] 設定を追加	音声画面 (カメラ)	6ページ
5	[RS485操作画面] 機能を追加	後側オプション画面 (機能拡張ユニット) ライブ画	7ページ
6	タイムゾーンの変更	基本画面 (基本)	9ページ

・ソフトウェアVer.1.80 (SFV531 SFV311A SPN531A SFV130 SFV110 を除く)

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
7	SDメモリーカードの警告出力、運用情報 /エラー情報表示に関する追加	アラーム画面 (アラーム) ステータス画面(メンテナンス)	10ページ
8	[音声圧縮方式] に [AAC(高音質)] を追加	音声画面 (カメラ)	13ページ
9	[端子1] に [自動時刻調整] を追加	アラーム画面 (アラーム)	14ページ
10	機能拡張ソフトウェア画面へのリンク表示	バージョンアップ画面 (メンテナンス)	15ページ

・ソフトウェアVer.2.00 (SFV311A SPN531A SFV130 SFV110 を除く)

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
11	[スマートコーディングモード] 機能を追加	JPEG/H.264画面 (カメラ)	16ページ

・ソフトウェアVer.2.02(SFV130 SFV110 を除く)

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
12	「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」 に統合	インターネット画面 (基本) ネットワーク画面(ネットワーク) ステータス画面(メンテナンス)	17ページ

・ソフトウェアVer.2.40

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
13	[HTTPS] の選択項目拡張	ネットワーク画面(ネットワーク)	20ページ
14	[改ざん検出を設定する] の選択項目拡張	基本画面 (基本)	22ページ
15	初回アクセス時の管理者登録画面の追加とユー ザー管理の初期値変更	ユーザー認証画面 (ユーザー管理)	24ページ

・ソフトウェアVer.2.50

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
16	[配信量制御(ビットレート)] の選択項目拡張	ネットワーク画面(ネットワーク)	25ページ
17	[スマートコーディングモード] に [On(Mid)]、 [On(High)] を追加	JPEG/H.264画面 (カメラ)	26ページ
18	[撮像モード] に [2メガピクセル[16:9] (30fps モード)] を追加	JPEG/H.264画面 (カメラ)	27ページ

・ソフトウェアVer.2.60

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
19	パスワードの入力文字制限の変更	管理者登録について	29ページ
20	プラグインソフトウェアに、[描画方式]、 [デコード方式]、[ライブ画フレームスキップ 表示 (PC高負荷時)] を追加	基本-基本	30ページ
21	認証方式の初期値の変更	ユーザー管理-ユーザー認証	32ページ
22	ホスト認証にユーザー認証機能を追加	ユーザー管理-ホスト認証	33ページ
23	配信量制御(ビットレート)] の初期値の変更	ネットワーク-ネットワーク	34ページ
24	設定データの暗号化	メンテナンス-データ	35ページ
25	ログインに関する表示にログイン失敗を追加	システムログ表示について	36ページ

・ソフトウェアVer.4.00

No.	機能	対応画面 (ページ)	記載ページ
26	設定データの暗号化方式の変更	メンテナンス-データ	37ページ

1. [日時&画面内文字] の表示設定の拡張

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - 基本設定を行う [基本])

日時と画面内文字の表示位置をそれぞれ設定できるようになりました。それぞれの表示位置に「中央上」と「中央下」を追加しました。また、表示する文字サイズを変更する機能を追加しました。

基本		インターネット	SDメモリーカード	ログ
言語選択		自動		
カメラタイトル		WV-SPN631		
日付時刻	日時	Dec / 16 / 2014 08 : 12 : 06		
	時刻表示形式	24h		
	日付表示形式	Mmm/DD/YYYY		
	NTP	NTP設定△		
	タイムゾーン	(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京		
	サマータイム	Out		
	開始日時	月	曜日	時間
終了日時	月	曜日	時間	
画面内文字表示		<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
画面内文字(A~Z, 0~9, カナ)				
日時&画面内文字	日時表示位置	左上		
	画面内文字表示位置	左上		
	文字サイズ	100%		
明るさ状態表示		<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off		

【日時&画面内文字】 - 【日時表示位置】

ライブ画ページの画像内で、日時を表示する位置を選択します。

左上：画面内の左上に表示します。

左下：画面内の左下に表示します。

中央上：画面内の中央上に表示します。

中央下：画面内の中央下に表示します。

右上：画面内の右上に表示します。

右下：画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

【日時&画面内文字】 - 【画面内文字表示位置】

ライブ画ページの画像内で、画像内に表示される文字列を表示する位置を選択します。

左上：画面内の左上に表示します。

左下：画面内の左下に表示します。

中央上：画面内の中央上に表示します。

中央下：画面内の中央下に表示します。

右上：画面内の右上に表示します。

右下：画面内の右下に表示します。

初期設定：左上

【日時&画面内文字】 - 【文字サイズ】

ライブ画ページの画像内で、日時と画像内に表示される文字列の文字サイズを選択します。

100%：標準の大きさで表示します。

150%：標準の150%の大きさで表示します。

200%：標準の200%の大きさで表示します。

初期設定：100%

重要

- ・【日時表示位置】と【画面内文字表示位置】の設定が異なる場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
- ・【日時表示位置】と【画面内文字表示位置】の設定が異なる場合、【文字サイズ】の設定と文字数によっては、文字が切れる場合や重なる場合があります。表示結果を確認のうえお使いください。
- ・【文字サイズ】が「150%」または「200%」に設定されている場合、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

2. 【コントラスト強調表示(RGB:0-255)】機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う【基本】 - 基本設定を行う【基本】)

プラグインソフトウェア (nwc43setup.exe)	自動インストール	<input checked="" type="radio"/> 許可する	<input type="radio"/> 許可しない
	ライブ画スムーズ表示 (ハップアニング)	<input checked="" type="radio"/> On	<input type="radio"/> Off
	コントラスト強調表示 (RGB:0-255)	<input type="radio"/> On	<input checked="" type="radio"/> Off

【コントラスト強調表示(RGB:0-255)】

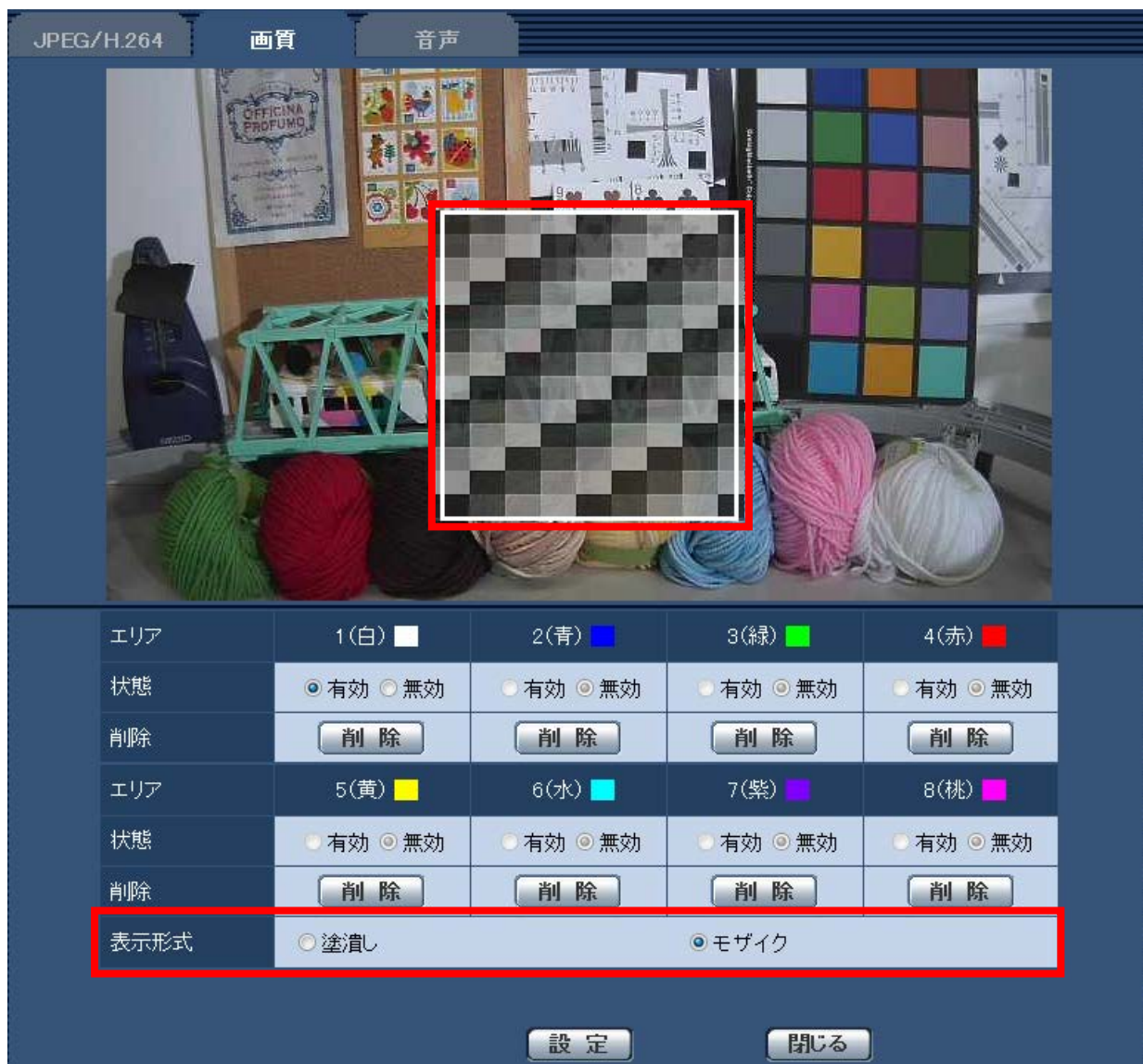
ライブ画のH.264画像のコントラストを強調して表示するかどうかをOn/Offで設定します。Onにすると、16から235のRGB信号を0から255の範囲へ伸張して表示します。被写体によっては高輝度部分に白とびが発生する場合があります。ご使用の環境に合わせてご使用ください。

初期設定：Off

お知らせ

- ・本設定は、Internet Explorerを用いてライブ画の画像を見る場合にのみ有効です。
- ・本設定を変更しても、配信される画像データやSDメモリーカードに記録する画像データに変化はありません。

3. [プライバシーゾーン] の [表示形式] 機能 (モザイク表示) を追加 (取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] -画質調整、 ズーム/フォーカス調整、プライバシーゾーン、VIQS、レンズ歪み補正を設定する [画質] -プライバシーゾーンを設定する (プライバシーゾーン設定画面))



【表示形式】

塗潰し：グレーで表示します。

モザイク：モザイクで表示します。

初期設定：塗潰し

重要

- ・ [表示形式] に「モザイク」を設定すると、設定したエリア内の映像は少し透けて表示され、ある程度、物や人の動きを確認することができます。
 ご使用の環境や被写体に合わせて、設定してください。

お知らせ

SFV631L **SPN631** **SPW631L** **SPN531**

- ・ [撮像モード] が「2メガピクセル [16:9] (60 fpsモード)」の場合、「モザイク」は選択できません。

4. [AGC (音声)] 設定を追加 (**SPW310** を除く)

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] - 画像・音声に関する設定を行う [音声])

JPEG/H.264	画質	音声
音声モード		受話
音声圧縮方式		G.726
ビットレート		32kbps
受話音量(PCで聞く)		マイク中
AGC(音声)		High
受話間隔(PCで聞く)		40ms
送話音量(PCから話す)		中
送話間隔(PCから話す)		640ms
連続送話時間		5min
送話先ポート番号(PCから話す)		34004 (1024-50000)
音声許可レベル		<input type="radio"/> 1.管理者のみ <input type="radio"/> 2.カメラ制御以上 <input checked="" type="radio"/> 3.すべて許可

[AGC (音声)]

受話音声を自動的に適正音量に増幅して調整します。増幅の度合いをHigh/Middle/Lowから選択します。

「High」に設定されている場合、小さな音を聞き取りやすくなりますが、雑音として聞こえる場合があります。雑音が気になる場合は、「Middle」または「Low」に設定してください。

初期設定 : High

お知らせ

- ・本設定は [録音] と [音検知] の音量にも適用されます。

重要

- ・ [音検知] を設定した後に、 [AGC (音声)] 設定を変更した場合は、 [音検知] で検知する音量が変わる可能性があります。必ず、再度 [音検知] の設定を確認してください。

5. [RS485 操作画面] 機能を追加 SPN631 SPN611

(取扱説明書 操作・設定編 機能拡張ユニットを設定する [機能拡張ユニット])

前側オプション	後側オプション
自動検出	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
拡張機能	RS485 ▼
RS485通信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
通信方式	<input checked="" type="radio"/> 4線式 <input type="radio"/> 2線式
通信速度	19200bps ▼
データビット	8bit ▼
パリティチェック	None ▼
プロトコル	Pelco-D ▼
ユニットアドレス	01
RS485操作画面	<input type="radio"/> On(回転台制御) <input checked="" type="radio"/> Off
コマンドテーブル	<input type="text"/> 参照...
アップロード	<input type="text"/> <input type="button" value="実行"/>

【RS485操作画面】

ライブ画ページにRS485通信に関する項目を表示するかどうかを設定します。

On(回転台制御) : RS485通信を用いて回転台を制御する画面を表示します。

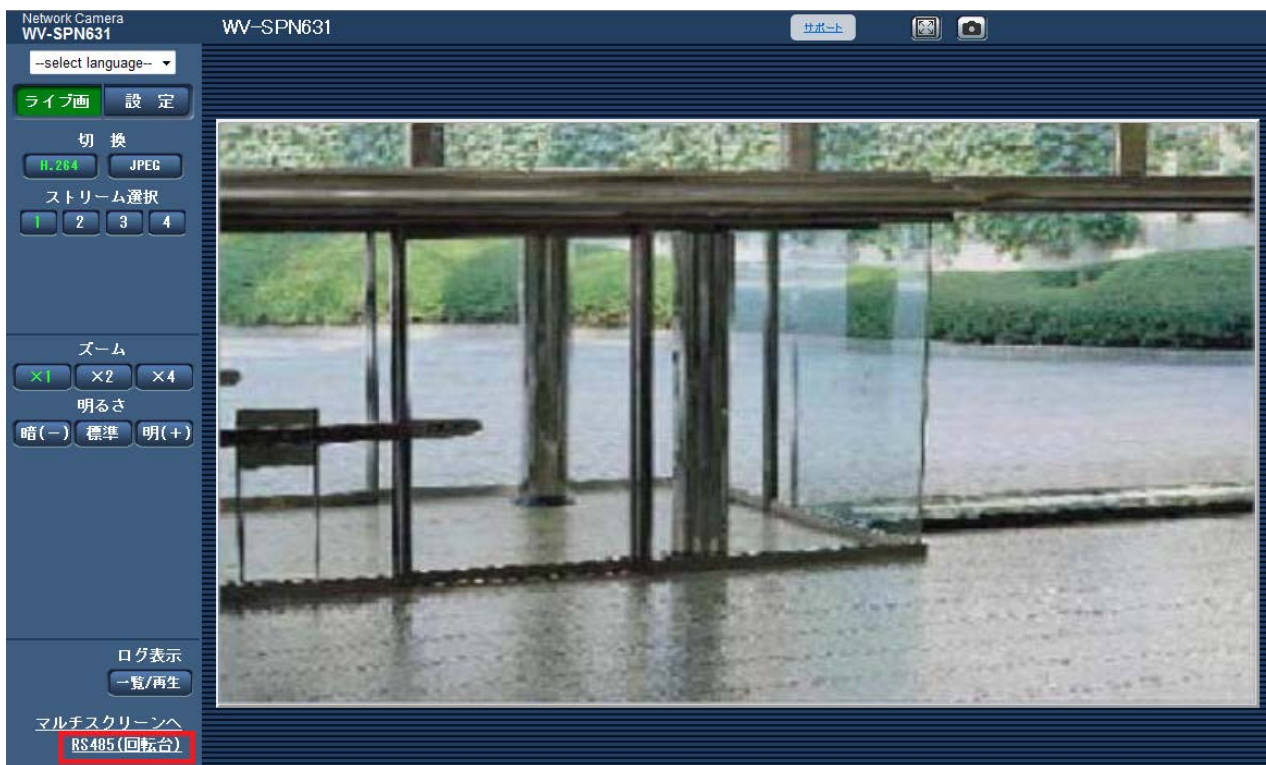
Off : RS485通信に関する項目を表示しません。

初期設定 : Off

お知らせ

- ・本機能は、別売のRS485出力ユニット(WV-SPN6R481)を使用している場合のみ使用できます。

(取扱説明書 操作・設定編 PCから画像を見る－ライブ画ページについて)



「RS485操作画面」を「On(回転台制御)」に設定した場合、ライブ画ページにリンクが表示されます。リンクをクリックすると、回転台を制御する画面が別ウィンドウで表示されます。



重要

・接続する回転台によっては、使用できない機能があります。ご使用の回転台の仕様をご確認ください。

6. タイムゾーンの変更

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])

タイムゾーンの設定値を見直し、2014年10月時点の情報に更新しました。

バージョンアップを実施いただいた後は、タイムゾーンの設定を再確認ください。

City	Before	After
モスクワ	GMT+04:00	GMT+03:00
サンクトペテルブルグ	GMT+04:00	GMT+03:00
ボルゴグラード	GMT+04:00	GMT+03:00
エカテリンバーグ	GMT+06:00	GMT+05:00
クラスノヤルスク	GMT+08:00	GMT+07:00
イルクーツク	GMT+09:00	GMT+08:00
ヤクーツク	GMT+10:00	GMT+09:00
ウラジオストク	GMT+11:00	GMT+10:00
マガダン	GMT+12:00	GMT+10:00

7. SDメモリーカードの警告出力、運用情報/エラー情報表示に関する追加

(**SFN310** **SPN310V** **SPW310** 除く)

(取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] -アラーム出力端子に関する設定を行う [アラーム]、本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] -ステータスを確認する [ステータス])

■SDメモリーカードの警告出力に関する追加

SDメモリーカードにエラーが発生した場合、または稼働が一定の状態に到達した場合に、アラーム端子から警告出力を出力することができます。

アラーム出力端子	
アラーム連動出力	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
SDメモリーカード警告	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
アラーム出力形式	<input checked="" type="radio"/> ラッチ <input type="radio"/> パルス
アラーム時の出力	<input type="radio"/> Open <input checked="" type="radio"/> Close
アラーム出力時間	<input type="text" value="1"/> s (1-120s)
<input type="button" value="設定"/>	

アラーム出力端子

[SDメモリーカード警告]

※アラーム出力端子対応機種のみ

SDメモリーカードの警告を検出したときに、アラーム出力端子に信号を出力するかどうかをOn/Offで設定します。

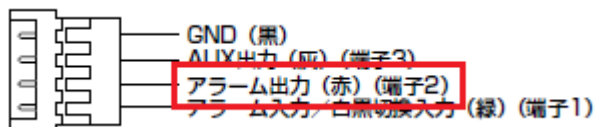
SDメモリーカード警告検出条件：SDメモリーカードエラー（ライトエラー、リードエラーなど）、稼働時間 6年経過、上書き回数 2,000回超過

On：警告状態を検知すると、アラーム出力端子に信号を出力し、ライブ画の [アラーム発生通知] ボタンが点滅します。

Off：警告状態の検知を停止します。

初期設定：Off

アラーム出力端子機能は、[アラーム] 設定の [端子2] を「アラーム出力」に設定する必要があります。



※4P アラームケーブル（付属品）の例
（機種により異なります）

重要

- ・本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。

お知らせ

- 稼働時間：6年は、SDカードをカメラに挿入してからの通電時間を、上書回数：2000回は、業務用SDメモリーカード(MLCタイプ)の書換回数上限値を、それぞれ目安としており、耐久期間を保証するものではありません。
- アラーム出力端子とSDメモリーカード警告は同一のアラーム出力端子を使用します。
- アラームとSDメモリーカード警告のいずれかが発生した場合にアラーム出力端子に信号を出力します。
- SDメモリーカード警告を検出した場合、ライブ画ページの[アラーム発生通知] ボタンが点滅します。[アラーム発生通知] ボタンをクリックすると、[アラーム発生通知] ボタンは表示されなくなります。
- SDメモリーカード警告によるアラーム出力端子の信号出力は、アラーム出力形式の設定により異なります。
 - ラッチの場合：[アラーム発生通知] ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、アラーム出力端子の信号出力は継続します。
 - パルスの場合：[アラーム発生通知] ボタンを消した後も、SDメモリーカード警告の要因が継続する間、アラーム出力端子の信号出力は継続しますが、「アラーム出力時間」で設定した時間を経過した場合、アラーム出力端子の信号出力は止まります。

■SDメモリーカードの運用情報/エラー情報表示を追加

メンテナンスページの[ステータス] タブのステータス画面にSDメモリーカードの情報、使用状況、エラー情報を表示します。

SDメモリーカード		
品番	SU08G	
シリアル番号	C07A787C	
容量表示	7737322KB/7741440KB(残容量/総容量)	
稼働時間	384 min (0days)	
上書き回数	0	
No	発生日時	内容
1	Oct/20/2014 19:07:02	<SD> ライトプロテクト

SDメモリーカード1・SDメモリーカード2 (**9FV631L** **9FV611L** **SPN631** **SPN611** **SPW631L** **SPW611L**)

SDメモリーカード(**SPN531** **9FV311** **SPN311**)

【品番】

SDメモリーカードの品番を表示します。

品番情報の取得に失敗した場合は、「リードエラー」と表示します。SDメモリーカードを使用していない場合は、「未使用」と表示します。それ以外の場合は、「不明」と表示します。

【シリアル番号】

SDメモリーカードのシリアル番号を表示します。

シリアル番号の取得に失敗した場合は、「不明」と表示します。

【容量表示】

SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。

基本ページの[SDメモリーカード] タブ-SDメモリーカード情報 [容量表示] と表示内容は同じです。

【稼働時間】

SDメモリーカードが挿入された状態での本機の通電時間を表示します。

稼働時間の取得に失敗した場合は、「不明」と表示します。

なお、稼働時間は1時間に1回更新されます。

【上書き回数】

SDメモリーカードの総容量、カメラがSDメモリーカードに書き込んだファイル数、ファイルサイズから計算した、上書き回数を表示します。

上書き回数の計算に失敗した場合は、「不明」と表示します。

お知らせ

- ・上書き回数は本機内で計算した推測値であり、実際の上書き回数と異なる場合があります。
- ・ [パスワードロック] を使用し、SDカードのパスワードが一致しない場合は、上記の情報は表示されません。

ログの [No] [発生日時] [内容]

SDメモリーカードに関するログを表示します。

分類	表示内容	内容詳細
SDメモリーカード	<SD> フォーマット	SDメモリーカードのフォーマットに成功しました。
	<SD> フォーマットエラー	SDメモリーカードのフォーマットでエラーが発生しました。
	<SD> ライトプロテクト	ライトプロテクトされたSDメモリーカードが挿入されました。
	<SD> 認識エラー	SDメモリーカードを正しく認識できません。
	<SD> ライトエラー	SDメモリーカードのライト処理でエラーが発生しました。
	<SD> リードエラー	SDメモリーカードのリード処理でエラーが発生しました。
	<SD> 削除エラー	SDメモリーカードの削除処理でエラーが発生しました。
	<SD> ファイルシステムエラー	SDメモリーカードのファイルシステムでエラーが発生しました。
	<SD> その他エラー	SDメモリーカードで上記以外のエラーが発生しています。

重要

- ・本機能を正しく使用するためには、SDメモリーカード使用前に本機でSDメモリーカードのフォーマットを行ってください。
- ・PCなど本機以外で使用したSDメモリーカードでは、正しい情報を表示することができない場合があります。
- ・SDメモリーカードログは、本機の内部メモリーに最大30件まで保存できます。保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。

8. 【音声圧縮方式】に【AAC(高音質)】を追加（**SPW310**を除く） （取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う【カメラ】 - 画像・音声に関する設定を行う【音声】）

JPEG/H.264	画質	音声
音声モード	受話	
音声圧縮方式	AAC-LC(高音質)	
ビットレート	128kbps	
受話音量(PCで聞く)	マイク 中	
AGC(音声)	High	
受話間隔(PCで聞く)	--	
送話音量(PCから話す)	中	
送話間隔(PCから話す)	640ms	
連続送話時間	5min	
送話先ポート番号(PCから話す)	34004 (1024-50000)	
音声許可レベル	<input type="radio"/> 1.管理者のみ <input type="radio"/> 2.カメラ制御以上 <input checked="" type="radio"/> 3.すべて許可	

【音声圧縮方式】

受話音声の圧縮方式をG.726/G.711 / AAC-LC/AAC-LC（高音質）から選択します。

初期設定：G.726

お知らせ

- ・G.711は「音声モード」が「受話」のときのみ選択できます。
- ・送話音声の圧縮方式には、常にG.726が適用されます。

【ビットレート】

音声を送信/受信するときのビットレートを選択します。

【音声圧縮方式】で「G.726」を選択した場合：16kbps/32kbps

【音声圧縮方式】で「AAC-LC（高音質）」を選択した場合：64kbps/96kbps/128kbps

初期設定：32kbps

重要

「AAC-LC（高音質）」を選択した場合、以下の機能が制限されます。

- 【SDメモリーカード】が使用できません。
- 【音検知】は使用できません。
- HTTPSを使用している場合、本機能は使用できません。
- アクセスできる最大ユーザー数が5人になります。

9. [端子 1] に [自動時刻調整] を追加 (**SFN310** **SPN310V** **SPW310** を除く)
 (取扱説明書 操作・設定編 アラーム設定を行う [アラーム] - アラーム動作に関する設定を行う [アラーム])

アラーム		動作検知エリア	音検知	通知
アラーム				
端子 1	自動時刻調整	▼	短絡	▼
端子 2	Off	▼		
端子 3	AUX出力	▼		
動作検知アラーム	動作検知設定へ			
音検知アラーム	音検知設定へ			
コマンドアラーム	コマンドアラーム	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off		
	受信ポート番号	<input type="text" value="8181"/> (1-65535)		
アラーム無検知時間	5s ▼			

[端子 1]

端子1の動作設定を行います。

Off : 使用しません。

アラーム入力 : 端子アラーム入力を受け付けます。アラーム入力を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡** : 端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。

- **開放** : 端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

白黒切換入力 : 白黒切換入力を受け付けます。(入力がOnのとき、白黒に切り換わります)

自動時刻調整 : 端子入力による時刻設定を受け付けます。信号が入力されると正時(毎時00分)からの時間差が29分以内の場合、00分00秒に設定します。5秒未満の時刻を戻す操作の場合は、時刻は変更されません。自動時刻調整を選択すると、短絡、開放選択用プルダウンメニューが表示されます。

- **短絡** : 端子状態が「クローズ」に変化すると自動時刻調整を行います。

- **開放** : 端子状態が「オープン」に変化すると自動時刻調整を行います。

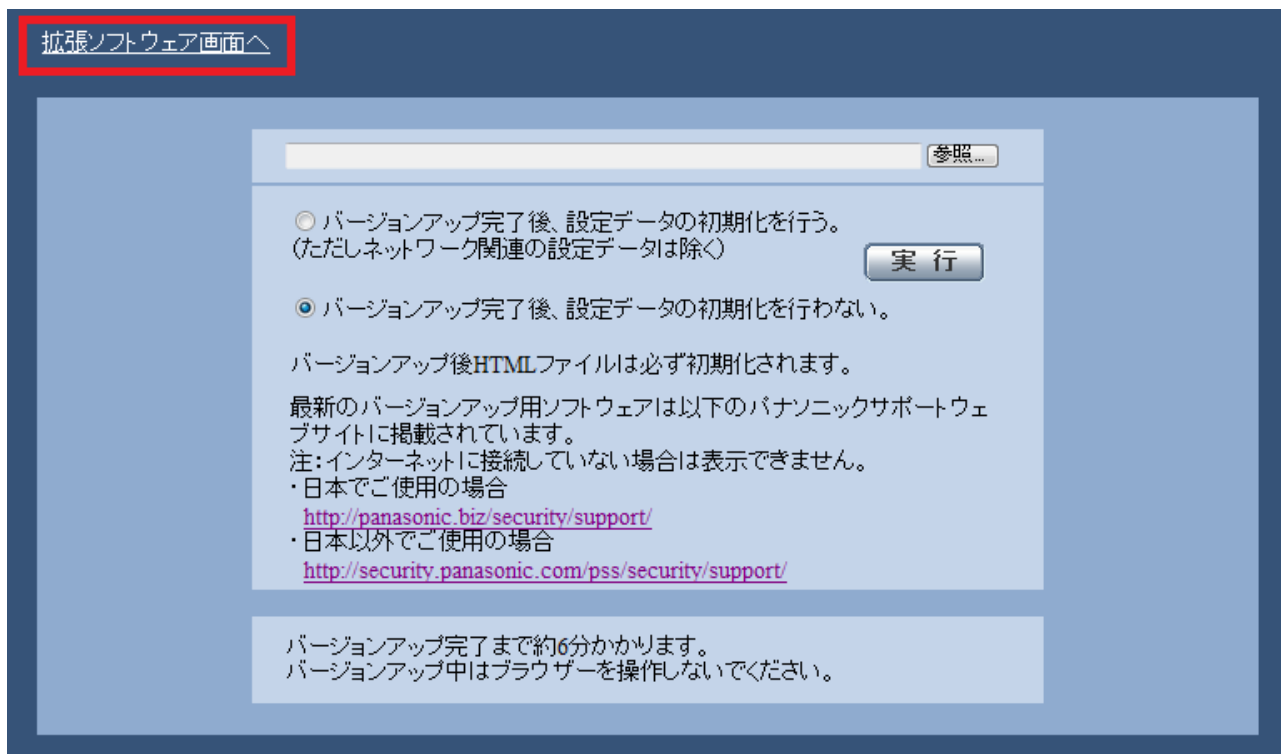
(例)

- 14 時 50 分 10 秒に信号入力 → 15 時 00 分 00 秒に設定します。
- 15 時 14 分 45 秒に信号入力 → 15 時 00 分 00 秒に設定します。
- 15 時 29 分 00 秒に信号入力 → 時刻調整は行われません。
- 15 時 30 分 30 秒に信号入力 → 時刻調整は行われません。
- 15 時 31 分 00 秒に信号入力 → 16 時 00 分 00 秒に設定します。
- 15 時 59 分 56 秒に信号入力 → 16 時 00 分 00 秒に設定します。
- 16 時 00 分 04 秒に信号入力 → 時刻調整は行われません。

初期設定 : Off

10. 機能拡張ソフトウェア画面へのリンク表示

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] - ソフトウェアのバージョンアップを行う [バージョンアップ])



機能拡張ソフトウェア画面へのリンクを表示しています。

機能拡張ソフトウェアの詳細はパナソニックのサポートウェブサイト

(<http://panasonic.biz/security/support/info.html>) を参照ください。

11. [スマートコーディングモード] 機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う [カメラ] –H.264画像に関する設定を行う [JPEG / H.264])

H264(1)	
H264配信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
解像度	1920x1080 ▼
配信モード	フレームレート指定 ▼
フレームレート *	30fps * ▼
最大ビットレート (アドバンスド可変ビットレート時)	低 ▼
制御期間 (アドバンスド可変ビットレート時)	24h ▼
1クライアントあたりのビットレート *	最大 4096kbps * ▼ ~ 最小 1024kbps * ▼
画質	標準 ▼
スマートコーディングモード	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
リフレッシュ間隔	1s ▼
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定:オート) ▼
ユニキャストポート番号1(画像)	32004 (1024-50000)
ユニキャストポート番号2(音声)	33004 (1024-50000)
マルチキャストアドレス	239.192.0.20
マルチキャストポート番号	37004 (1024-50000)
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)

[スマートコーディングモード]

ストリーム配信の調節方法をOn/Offで設定します。

動きが少ない映像の際、より少ないデータ量で配信することができます。

初期設定 : Off

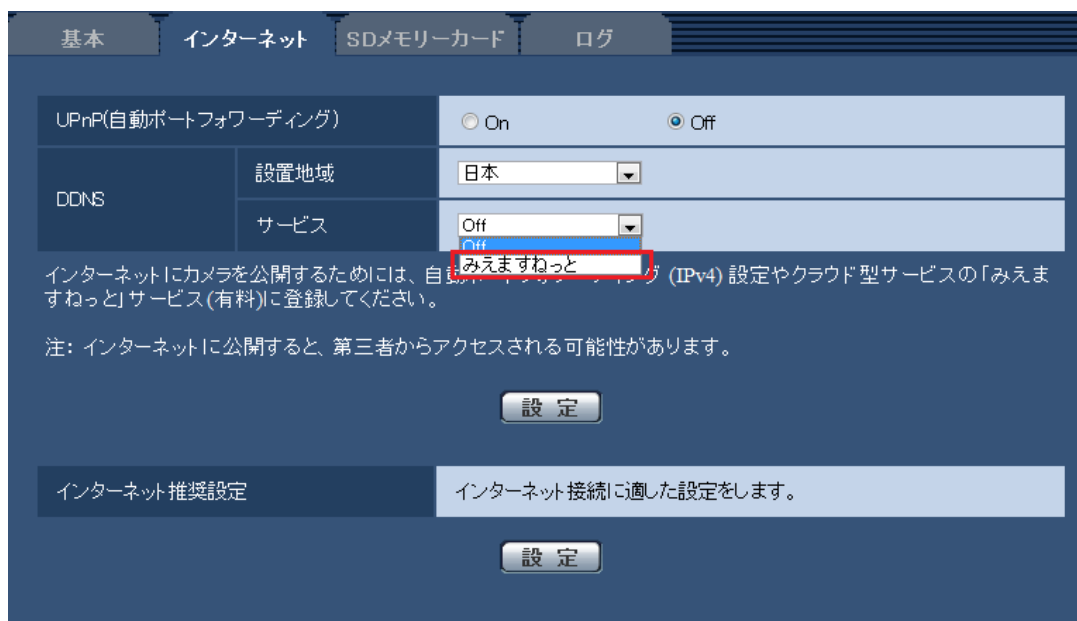
お知らせ

- 「配信モード」で「可変ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。
- 「スマートコーディングモード」が「On」に設定されている場合は、リフレッシュ間隔が最大8sに設定されます。
- 「スマートコーディングモード」の設定を「On」から「Off」に切替える時、「リフレッシュ間隔」の設定は「Off」時の設定値に戻ります。
- スマートコーディングモードを「On」にすると、リフレッシュ間隔は、1秒から8秒の間で可変します。Iフレームのみを利用した再生・表示を行う場合、表示間隔が変化します。

12. 「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」に統合

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - インターネット公開を設定する [インターネット]、ネットワークの設定 [ネットワーク] - DDNSの設定方法、本機のメンテナンスを行う [メンテナンス] - ステータスを確認する [ステータス])

■ インターネット設定の「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」に変更



[サービス]

DDNSの「みえますねっと」サービス (有料) を使用するかどうかを、みえますねっと / Offで選択します。みえますねっと設定後、「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウィンドウで開きます。以後、画面に従って登録を進めてください。

詳細は同梱のCD-ROM内の「みえますねっと」サービスちらし、または、「みえますねっと」のウェブサイト (<http://panasonic.biz/miemasu/mnet/>) を参照してください。

初期設定 : Off

お知らせ

- 「DDNS」の設定を変更すると、ネットワークページの [アドバンス] タブの「DDNS」も同様に変更されます。

■ DDNS設定の「みえますねっとPRO」を削除



「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」に統合の為、「みえますねっとPRO」がサービスの選択項目から削除になります。

■ DDNS設定の「みえますねっと」設定の変更

DDNS	
設置地域	日本
サービス	みえますねっと
カメラURL	
みえますねっと登録へのリンク	
アクセス間隔	15

「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」に統合の為、「アクセス間隔」項目が削除になります。

【設置地域】

カメラを設置している地域を選択します。

「みえますねっと」サービスを使用する場合は「日本」を選択します。

日本/日本以外

【サービス】

DDNSを使用するかどうか、使用するDDNSサービスを選択します。

Off : DDNSを使用しません。

みえますねっと : 「みえますねっと」サービスを使用します。

ダイナミックDNS Update (DHCP連携なし) : ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) をDHCP連携なしで使用します。

ダイナミックDNS Update (DHCP連携) : ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) をDHCP連携で使用します。

初期設定 : Off

【カメラURL】

「みえますねっと」サービスに登録された、カメラのURLが表示されます。

【みえますねっと登録へのリンク】

表示されているURLをクリックすると「みえますねっと」サービスの登録画面が新しいウィンドウで開きます。

お知らせ

- みえますねっとの登録手順については、同梱のCD-ROM内の「みえますねっと」サービスちらし、または「みえますねっと」のウェブサイト (<http://panasonic.biz/miemasu/mnet/>) を参照ください。
- ダイナミックDNS Update (RFC2136準拠) を使用する場合、DHCP連携なし/DHCP連携の選択は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ メンテナンスのステータス画面から「みえますねっとPRO」を削除

The screenshot shows a web interface with tabs for 'システムログ', 'バージョンアップ', 'ステータス', '初期化', and 'データ'. The 'ステータス' tab is active. The main content area is divided into sections: 'みえますねっとPRO', 'みえますねっと', 'UPnP', and '自己診断'. The 'みえますねっとPRO' section is crossed out with a red 'X'. The 'みえますねっと' section shows 'ステータス' as '無効'. The 'UPnP' section shows 'ポート番号(HTTP)' and 'ポート番号(HTTPS)' as '-', and 'ステータス' as '無効'. The '自己診断' section shows 'ハードウェア1' as '0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000-00'.

みえますねっとPRO	
サーバー	
ステータス	未接続
カメラURL	

みえますねっと	
サーバー	
ステータス	無効
カメラURL	

UPnP	
ポート番号(HTTP)	-
ステータス	無効
ポート番号(HTTPS)	-
ステータス	無効
ルーターのグローバルアドレス	

自己診断	
ハードウェア1	0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000-0000-00

「みえますねっとPRO」を「みえますねっと」に統合の為、「みえますねっとPRO」のステータスが削除になります。

● 【みえますねっと】

サーバー：「みえますねっと」サービスサーバーのURLが表示されます。

ステータス：「みえますねっと」サービスへの登録状態が表示されます。

カメラURL：「みえますねっと」サービスに登録されたカメラのURLが表示されます。

● 【UPnP】

ポート番号(HTTP)、ポート番号(HTTPS)：UPnPでポートフォワーディング設定されたポート番号が表示されます。

ステータス：ポートフォワーディングの状態が表示されます。

ルーターのグローバルアドレス：ルーターのグローバルアドレスが表示されます。

● 【自己診断】

ハードウェアの自己診断結果が表示されます。

お知らせ

- ステータスの表示内容（みえますねっと、UPnPの各ステータス、自己診断）については、パナソニックのサポートウェブサイト（<http://panasonic.biz/security/support/info.html>）を参照ください。

13. [HTTPS] の選択項目拡張

(SFV631L SFV611L SPN631 SPN611 SPW631L SPW611L SPN531 SFV531 SPN531A SFV130 SFV110)

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - HTTPSの設定方法)

HTTPSを使用する際に必要となる証明書の選択ができるようになりました。プリインストール証明書の使用時のルート証明書を取得するための実行ボタンが追加されました。

HTTPS	
接続方法	HTTP ▼
証明書の選択	プリインストール ▼
HTTPSポート番号	443 (1-65535)
プリインストール証明書	
ルート証明書取得	実行
CA証明書	
CRT鍵生成	実行
署名リクエスト(CSR)生成	実行
サーバー証明書インストール	参照... 実行
情報	無効 確認 削除

■ [HTTPS] - [証明書の選択]

HTTPSにて使用する証明書を選択します。

プリインストール：プリインストール証明書を選択します。

CA：CA証明書を選択します。CA証明書がインストールされている場合のみ表示されます。

初期設定：プリインストール

お知らせ

- ・CA証明書を追加したときのみCA証明書の選択が可能です。

■ [プリインストール証明書] - [ルート証明書取得]

実行ボタンを押下するとプリインストール証明書用のルート証明書をダウンロードします。ルート証明書をお使いのPCにインストールすることでプリインストール証明書の署名検証が可能となります。

お知らせ

- ・お使いのPCへルート証明書をインストールする方法については、パナソニックのサポートウェブサイト (<http://panasonic.biz/security/support/info.html>) を参照ください。

重要

SFV631L **SFV611L** **SPN631** **SPN611** **SPW631L** **SPW611L** **SPN531** **SFV531** **SPN531A**

- ・2016年4月生産分以降（シリアル番号PDxxxxxx以降）で本機能をご使用いただけます。
（1桁目がP,Q,R***以降、および1桁目がPの場合2桁目がD,E,F,***以降）

SFV130 **SFV110**

- ・2016年5月生産分以降（シリアル番号PExxxxxx以降）で本機能をご使用いただけます。
（1桁目がP,Q,R***以降、および1桁目がPの場合2桁目がE,F,G,***以降）

14. [改ざん検出を設定する] の選択項目拡張

(SFV631L SFV611L SPN631 SPN611 SPW631L SPW611L SPN531 SFV531 SPN531A SFV130 SFV110)

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] - 改ざん検出を設定する [改ざん検出])

改ざん検出	
証明書の選択	プリインストール ▾
改ざん検出情報付加	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
設定	
プリインストール証明書	
証明書取得	実行
CA証明書	
CRT鍵生成	実行
署名リクエスト(CSR)生成	実行
証明書インストール	参照... 実行
情報	無効 確認 削除
証明書取得	実行

[改ざん検出] - [証明書の選択]

改ざん検出にて使用する証明書を選択します。

プリインストール：プリインストール証明書を選択します。

CA：CA証明書を選択します。CA証明書がインストールされている場合のみ表示されます。

初期設定：プリインストール

お知らせ

- ・ CA証明書を追加したときのみCA証明書の選択が可能です。

[プリインストール証明書] - [証明書取得]

[実行] ボタンをクリックすると証明書をダウンロードします。

専用ソフトウェアでSDメモリーカード内の動画 (MP4ファイル) の改ざん検出を実施する際に、ダウンロードした証明書を使用します。

重要

SFV631L **SFV611L** **SPN631** **SPN611** **SPW631L** **SPW611L** **SPN531** **SFV531** **SPN531A**

- ・2016年4月生産分以降（シリアル番号PDxxxxxx以降）で本機能をご使用いただけます。
（1桁目がP,Q,R***以降、および1桁目がPの場合2桁目がD,E,F,***以降）

SFV130 **SFV110**

- ・2016年5月生産分以降（シリアル番号PExxxxxx以降）で本機能をご使用いただけます。
（1桁目がP,Q,R***以降、および1桁目がPの場合2桁目がE,F,G,***以降）

15. 初回アクセス時の管理者登録画面の追加とユーザー管理の初期値変更 (取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理] -ユーザー認証を設定する [ユーザー認証])

■初回アクセス時の管理者登録画面を追加

管理者登録
管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。

ユーザー名(1~32文字)

パスワード(8~32文字)

パスワード確認

登録

お知らせ

- (1)大文字、小文字を区別して入力してください。
- (2)ユーザー名の入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号 “&”; ¥
- (3)パスワードの入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号 “&
- (4)パスワードは英字、数字、記号のうち2種類以上を使用してください。
- (5)ユーザー名、パスワードは忘れないように保管してください。
- (6)パスワードは定期的に変更してください。

カメラへの初回アクセス時に管理者登録画面が表示されます。

(※カメラのユーザー認証設定は、初期設定：On です)

画面に従って管理者のユーザー名、パスワード、およびパスワード確認を入力し、[登録] ボタンをクリックしてください。

登録完了後、カメラに自動で再接続し、認証画面が表示されますので、登録したユーザー名、パスワードを入力してご使用ください。

重要

- ・パスワードは定期的に変更してください。

■ユーザー名/パスワードの初期値の廃止と入力文字制限の変更

セキュリティ強化のため、ユーザー名/パスワードの初期値を廃止します。また、以下の初期値及び入力規則を変更します。

[ユーザー認証]

初期値を「Off」から「On」に変更しました。

[パスワード] / [パスワード確認]

入力可能文字数を「4~32文字」から「8~32文字」に変更しました。また、英字、数字、記号のうち2種類以上を使用してください。

16. 【配信量制御(ビットレート)】の選択項目拡張

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク] - ネットワークを設定する [ネットワーク])

IPv6/v4共通	
HTTPポート番号	<input type="text" value="80"/> (1-65535)
通信速度	Auto
RTPパケット 最大送信サイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし(1500byte) <input type="radio"/> 制限あり(1280byte)
HTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte)
配信量制御(ビットレート)	制限なし
IP簡単設定有効期間	<input checked="" type="radio"/> 20分間 <input type="radio"/> 無制限
カメラへのFTPアクセス	<input type="radio"/> 許可 <input checked="" type="radio"/> 禁止

【配信量制御(ビットレート)】

データの配信量を以下から選択します。

10240 kbpsから51200 kbpsの選択肢を追加しました。

制限なし / 64 kbps / 128 kbps / 256 kbps / 384 kbps / 512 kbps / 768 kbps / 1024 kbps / 2048 kbps / 4096 kbps / 8192 kbps / 10240 kbps / 15360 kbps / 20480 kbps / 25600 kbps / 30720 kbps / 35840 kbps / 40960 kbps / 51200 kbps

初期設定 : 制限なし

17. 【スマートコーディングモード】に【On(Mid)】、【On(High)】を追加 (取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う【カメラ】 - H.264画像に関する設定を行う【JPEG/H.264】)

H264(1)	
H264配信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
解像度	1920x1080 ▼
配信モード	フレームレート指定 ▼
フレームレート *	30fps * ▼
最大ビットレート (アドバンスド可変ビットレート時)	低 ▼
制御期間 (アドバンスド可変ビットレート時)	24h ▼
1クライアントあたりのビットレート *	最大 4096kbps * ▼ ~ 最小 512kbps * ▼
画質	標準 ▼
スマートコーディングモード	Off ▼
リフレッシュ間隔	1s ▼
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定:オート) ▼
ユニキャストポート番号1(画像)	32004 (1024-50000)
ユニキャストポート番号2(音声)	33004 (1024-50000)
マルチキャストアドレス	239.192.0.20
マルチキャストポート番号	37004 (1024-50000)
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)

【スマートコーディングモード】

ストリーム配信の調節方法に「On(Mid)」、「On(High)」を追加します。

「On(Low)」はソフトウェアVer.2.40以前の「On」と同じです。

Off : スマートコーディングモードを使用しません。

On(Low) : 画像内に動きが無い場合に、H.264のリフレッシュ間隔が8秒になります。そのため、配信データ量を少なくすることができます。画像内に動きがある場合、リフレッシュ間隔は1秒になります。

On(Mid) : 画像内に動きが無い場合に、リフレッシュ間隔が16秒になります。画像内に動きがある場合、リフレッシュ間隔は4秒になります。

On(High) : Auto-VIQS技術により、動きのある場所の画質を高画質に保ち、動きのない場所のデータ量を少なくすることができます。また、On(Mid)時と同じように、画像内に動きが無い場合に、リフレッシュ間隔が16秒になり、動きがある場合は4秒になります。

お知らせ

- スマートコーディングモードをOn(High)にすると、カメラページ【画質】タブのVIQS機能は使用できません。また、【画質】タブのVIQS機能を設定している場合、スマートコーディングモードをOn(High)に設定できません。
- On(Mid)、On(High)はOn(Low)よりデータ量の削減効果が高いですが、部分的に画質が低下する場合があります。

18. 【撮像モード】に【2メガピクセル[16:9]（30fpsモード）】を追加

SPV611L SPN611 SPW611L SFV311 SPN311 SFN310 SPN310V SPW310

（取扱説明書 操作・設定編 画像・音声に関する設定を行う【カメラ】－撮像モードを設定する【JPEG/H.264】、JPEG画像を設定する【JPEG/H.264】、H.264画像に関する設定を行う【JPEG/H.264】）



【撮像モード】

撮像モードに「2メガピクセル[16:9]（30fpsモード）」を追加します。

1.3メガピクセル[16:9]（30fpsモード）／1.3メガピクセル[16:9]（60fpsモード）／
1.3メガピクセル[4:3]（30fpsモード）／2メガピクセル[16:9]（30fpsモード）

初期設定：1.3メガピクセル[16:9]（30fpsモード）

JPEG		
JPEG(1)	解像度	1280x720
	画質	画質 1 5 標準 画質 2 8
JPEG(2)	解像度	640x360
	画質	画質 1 5 標準 画質 2 8
JPEG(3)	解像度	320x180
	画質	画質 1 5 標準 画質 2 8

JPEG

【解像度】

「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9]（30fpsモード）」に設定されている場合、JPEG画像の解像度を以下から選択します。

1920×1080／640×360／320×180／160×90

H264(1)	
H264配信	<input checked="" type="radio"/> On <input type="radio"/> Off
インターネットモード(over HTTP)	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
解像度	1920x1080 ▼
配信モード	フレームレート指定 ▼
フレームレート *	30fps * ▼
最大ビットレート (アドバンスド可変ビットレート時)	低 ▼
制御期間 (アドバンスド可変ビットレート時)	24h ▼
1クライアントあたりのビットレート *	最大 4096kbps * ▼ ~ 最小 512kbps * ▼
画質	標準 ▼
スマートコーディングモード	Off ▼
リフレッシュ間隔	1s ▼
配信方式	ユニキャスト(ポート番号設定:オート) ▼
ユニキャストポート番号1(画像)	32004 (1024-50000)
ユニキャストポート番号2(音声)	33004 (1024-50000)
マルチキャストアドレス	239.192.0.20
マルチキャストポート番号	37004 (1024-50000)
マルチキャストTTL/HOPLimit	16 (1-254)

H.264(1)・H.264(2)・H.264(3)・H.264(4)

【解像度】

「撮像モード」が「2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)」に設定されている場合、H.264画像の解像度を以下から選択します。

撮像モード	解像度			
	H.264(1)	H.264(2)	H.264(3)	H.264(4)
2メガピクセル[16:9] (30fpsモード)	1920×1080	1920×1080	640×360	640×360
	640×360	640×360	320×180	320×180
	320×180	320×180	160×90	160×90
	160×90	160×90		

19. パスワードの入力文字制限の変更

(取扱説明書 管理者登録について)

管理者登録
管理者のユーザー名、パスワードを入力してください。

ユーザー名(1~32文字)	<input type="text"/>
パスワード(8~32文字)	<input type="password"/>
パスワード確認	<input type="password"/>

お知らせ
(1)大文字、小文字を区別して入力してください。
(2)ユーザー名の入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号「&」;¥
(3)パスワードの入力不可文字は次の通りです。全角、半角記号「&」
(4)パスワードは英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
(5)ユーザー名、パスワードは忘れないように保管してください。
(6)パスワードは定期的に変更してください。
(7)パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

【パスワード(8~32文字)】 / 【パスワード確認】

管理者のパスワードを入力します。

入力可能文字数：8~32文字

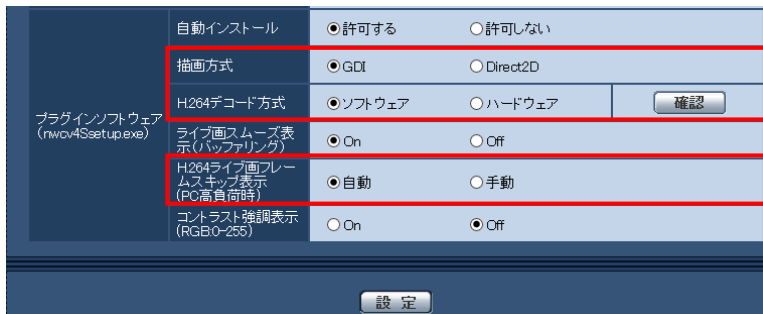
入力不可文字：全角、半角記号「」 「&」

お知らせ

- ・大文字、小文字を区別して入力してください。
- ・英字(大文字)、英字(小文字)、数字、記号のうち3種類以上を使用してください。
- ・パスワードはユーザー名を含まないように設定してください。

20. プラグインソフトウェアに、[描画方式]、[デコード方式]、 [ライブ画フレームスキップ表示 (PC高負荷時)] を追加

(取扱説明書 操作・設定編 本機の基本設定を行う [基本] – 基本設定を行う [基本])



[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [描画方式]

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の画像表示を設定します。

- ・ **GDI** : Windowsの一般的な描画方式です。
- ・ **Direct2D** : 描画のカクつきを軽減することができます。

初期設定 : GDI

重要

- ・ 「Direct2D」は、グラフィックドライバーを最新バージョンに更新したPCで使用してください。
- ・ 「Direct2D」は、「ライブ画スムーズ表示 (バッファリング)」を「On」に設定して使用してください。
「ライブ画スムーズ表示 (バッファリング)」が「Off」の場合、十分に効果が得られないことがあります。

お知らせ

- ・ ご利用のPCが、Windows 7の場合、Aero機能を「無効」にすると十分に効果が得られないことがあります。
- ・ 描画方式にDirect2D を設定している場合、ご利用のPC によっては映像が表示されなかったり、表示の一部が壊れたように見えたりすることがあります。
- ・ Direct2Dの設定が可能なPC については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。

<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号 : C0313>

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [H.264デコード方式]

ライブ画のH.264画像のデコード方式を選択します。

- ・ **ソフトウェア** : ソフトウェアによりデコードします。
- ・ **ハードウェア** : ハードウェアアクセラレーション(QSV/DXVA)機能を使用して高速にデコードします。

初期設定 : ソフトウェア

重要

- ・ ご利用のPCによっては、「ハードウェア」設定を使用できない場合があります。
「確認」ボタンを押すと、次のダイアログメッセージが表示されます。
 - ご利用のPCでは、ハードウェアデコードを有効にすることができます。
※ご利用のPC環境によっては、映像が出力されない場合があります。その場合は、「H.264デコード方式」を「ソフトウェア」に設定してください。
 - ご利用のPCでは、ハードウェアデコードを有効にすることができません。「H.264デコード方式」を「ソフトウェア」に設定してください。

お知らせ

- ・ H.264デコード方式にハードウェアを設定している場合、ご利用のPC によっては映像が表示されなかったり、表示の一部が壊れたように見えたりすることがあります。
- ・ ハードウェアの設定が可能なPC については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号 : C0313>

[プラグインソフトウェア (nwcv4Ssetup.exe)] – [H.264ライブ画フレームスキップ表示 (PC高負荷時)]

表示用プラグインソフトウェアで本機の画像を表示する際の設定を行います。

- ・ **自動** : 本機の画像表示が遅延した場合、自動でフレームスキップを行い遅延を解消します。
- ・ **手動** : 本機の画像表示が遅延した場合、自動でフレームスキップを行いません。

初期設定 : 自動

お知らせ

- ・ 「手動」に設定している場合、ライブ画面上で右クリックし、フレームスキップを「Off」、 「1 FrameSkip」、 「2 Frames Skip」、 「4 Frames Skip」、 「6 Frames Skip」、 「8 Frames Skip」 から選択することができます。ここで選択した設定値は、ウェブブラウザを閉じると「Off」に戻ります。

21. 認証方式の初期値の変更

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理]
-ユーザー認証を設定する [ユーザー認証])



[認証方式]

ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。

Digest or Basic : ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。

Digest : ダイジェスト認証を使用します。

Basic : ベーシック認証を使用します。

初期設定 : Digest

重要

■システム機器について（弊社ネットワークディスクレコーダーなど）

- ・システム機器と接続できない場合は、システム機器をバージョンアップしてください。
- ・システム機器のバージョンアップの情報については、下記のウェブサイトを参照してください。
<https://sol.panasonic.biz/security/support/info.html> <管理番号 : C0701>
- ・システム機器（生産終了品）はサポートを終了している機器があります。その場合はカメラのユーザー認証の認証方式を「Basic」に設定することで接続できます。

22. ホスト認証にユーザー認証機能を追加

(取扱説明書 操作・設定編 認証を設定する [ユーザー管理])

–ホスト認証を設定する [ホスト認証])

ホスト認証後、ユーザー認証設定 (On/Off) に応じてユーザー認証を実施し、その権限に応じたアクセス権を許可するように変更します。

ユーザー認証	ホスト認証	システム
ホスト認証		
		<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
設定		
IPアドレス		<input type="text"/>
アクセスレベル		
		<input type="radio"/> 1.管理者 <input type="radio"/> 2.カメラ制御 <input checked="" type="radio"/> 3.ライブ画表示
登録		
ホスト確認		<input type="text"/> <input type="button" value="削除"/>

お知らせ

「ユーザー認証」の設定が「On」の場合：

ホスト認証に設定されたIPアドレスから本機に接続した際に、ユーザー認証が必要となります。

「ユーザー認証」の設定が「Off」の場合：

ホスト認証に設定されたIPアドレスから本機に接続した際に、ユーザー認証は不要です。

ただし、アクセスレベルの範囲外にアクセスすると、ユーザー認証が必要になります。

重要

- ・旧バージョンで設定されたホストでは、「ユーザー認証」の設定が「On」の場合でもアクセスレベルの範囲内はユーザー認証が不要です。
- ・旧バージョンで設定されたホストについては、ホスト確認欄のIPアドレスの頭に*印を表示します。

23. 配信量制御(ビットレート)の初期値を変更

(取扱説明書 操作・設定編 ネットワークの設定 [ネットワーク]
–ネットワークを設定する [ネットワーク])

配信量制御(ビットレート)の初期値を変更します。

The screenshot shows a network configuration interface with tabs for 'ネットワーク' (Network) and 'アドバンス' (Advanced). The 'アドバンス' tab is selected. The interface is divided into sections for IPv4, IPv6, and IPv6v4互通 (IPv6v4互通). The '配信量制御(ビットレート)' (Bandwidth Control (Bitrate)) setting is highlighted with a red box and is set to '51200kbps'. Other settings include connection mode, IP addresses, subnet masks, default gateways, DNS, and various protocol options.

IPv4ネットワーク	接続モード	自動設定(おまかせ)
IPアドレス(IPv4)	192 . 168 . 0 . 10	
サブネットマスク	255 . 255 . 255 . 0	
デフォルトゲートウェイ	192 . 168 . 0 . 1	
DNS	<input checked="" type="radio"/> Auto <input type="radio"/> Manual	
プライマリサーバーアドレス	0 . 0 . 0 . 0	
セカンダリサーバーアドレス	0 . 0 . 0 . 0	
IPv6ネットワーク	手動設定	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off
IPアドレス(IPv6)		
デフォルトゲートウェイ		
DHCPv6	<input type="radio"/> On <input checked="" type="radio"/> Off	
DNSプライマリサーバーアドレス		
DNSセカンダリサーバーアドレス		
IPv6v4互通	HTTPポート番号	80 (1-65535)
通信速度	Auto	
RTPパケット 最大送信サイズ	<input checked="" type="radio"/> 制限なし(1500byte) <input type="radio"/> 制限あり(1280byte)	
HTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte)	
配信量制御(ビットレート)	51200kbps	
IP簡単設定有効期間	<input checked="" type="radio"/> 20分間 <input type="radio"/> 無制限	
カメラへのFTPアクセス	<input type="radio"/> 許可 <input checked="" type="radio"/> 禁止	

設定

[配信量制御(ビットレート)]

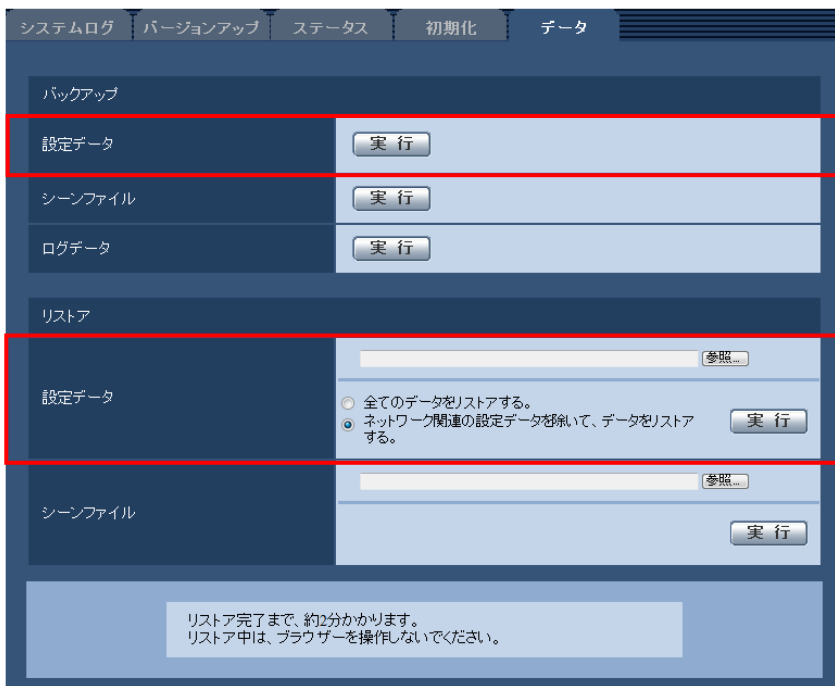
データの配信量を以下から選択します。

制限なし/64 kbps/128 kbps/256 kbps/384 kbps/512 kbps/768 kbps/1024 kbps/
2048 kbps/4096 kbps/8192 kbps/10240 kbps/15360 kbps/20480
kbps/25600 kbps/ 30720kbps/35840kbps/40960 kbps/51200kbps

初期設定 : 51200kbps

24. 設定データの暗号化

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]
- 設定データ・ログをバックアップ/リストアする [データ])



バックアップ

● [設定データ]

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定データを暗号化して PC に保存します。

お知らせ

・本バージョン以降のバックアップでは設定データを暗号化するため、ソフトウェアのバージョンを以前のバージョンに戻した時は、リストアできません。

25. ログインに関する表示にログイン失敗を追加

(取扱説明書 操作・設定編 システムログ表示について)

ログインエラーに関するエラー表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン失敗	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none">・ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログイン失敗したユーザーのユーザー名を表示します。・ユーザー登録されていない場合は、(未登録ユーザー)を表示します。

26. 設定データの暗号化方式の変更

(取扱説明書 操作・設定編 本機のメンテナンスを行う [メンテナンス]
- 設定データ・ログをバックアップ/リストアする [データ])

The screenshot shows a web interface with a top navigation bar containing 'システムログ', 'バージョンアップ', 'ステータス', '初期化', and 'データ'. The 'データ' (Data) menu is active. Under the 'バックアップ' (Backup) section, there are three rows: '設定データ' (Settings Data) with an '実行' (Execute) button, 'シーンファイル' (Scene Files) with an '実行' (Execute) button, and 'ログデータ' (Log Data) with an '実行' (Execute) button. The 'リストア' (Restore) section has two rows: '設定データ' (Settings Data) with a search field and a '参照...' (Reference...) button, and 'シーンファイル' (Scene Files) with a search field and an '実行' (Execute) button. The '設定データ' restore options are: 全てのデータをリストアする。 (Restore all data.) and ネットワーク関連の設定データを除いて、データをリストアする。 (Restore data excluding network-related settings data.) with an '実行' (Execute) button. A message at the bottom states: 'リストア完了まで、約2分かかります。リストア中は、ブラウザを操作しないでください。' (It takes about 2 minutes until restore is complete. Do not operate the browser during restore.)

バックアップ

●【設定データ】

[実行] ボタンをクリックすると、本機の設定データを暗号化して PC に保存します。

お知らせ

- ・ 本バージョン以降のバックアップでは設定データの暗号方式を変更するため、ソフトウェアのバージョンを以前のバージョンに戻した時は、リストアできません。